

2026 年 9 月 9 日

九州電力株式会社

経済産業省・NEDO が実施する国家プロジェクト

「ロボット基盤モデルの研究開発事業（GENIAC）」に参画します

— 火力発電所を実証フィールドとした AI ロボティクスの現場活用に挑戦 —

九州電力株式会社（代表取締役社長執行役員：西山 勝 以下、当社）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業／ロボット基盤モデルの研究開発（GENIAC）^{（注1）}（補助）」（多用途ロボット等を含む）^{（注2）}において、FastLabel 株式会社（代表取締役社長：鈴木 健史 以下、FastLabel）の共同研究先として本事業へ参画します^{（注3）}。

本事業は、当社が保有する火力発電所を実証フィールドとして、AI による高度な判断・認識能力を備えたロボット基盤モデルの研究開発^{（注4）}に共同で取り組むものです。

当社は、本事業を通じて AI ロボティクスによる巡視点検業務等の自動化や高度化、安全性の強化に向けた検証を進め、人手不足をはじめとする社会課題の解決や AI ロボティクス技術の発展に貢献することで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

【採択事業概要】

開発テーマ	ロボット基盤モデルの研究開発（GENIAC）（補助）
内 容	AI による知能の高度化を通じて自律制御を実現する機械システムに搭載され、当該ハードウェアを直接制御するロボット基盤モデルの研究開発
公 表 日	2026 年 9 月 9 日
実 施 者	FastLabel 株式会社
共同研究先	九州電力株式会社
事 業 期 間	事業開始から 1 年間

（注1）「GENIAC（Generative AI Accelerator Challenge）」は、経済産業省と NEDO が実施する、国内の生成 AI の開発力強化と社会実装の促進を目的としたプロジェクト

（注2）2026 年 9 月 9 日 NEDO 公表『「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業／ロボット基盤モデルの研究開発（GENIAC）（補助）」（多用途ロボット等を含む）の実施体制の決定について』

（注3）2026 年 9 月 9 日 FastLabel 公表『FastLabel、経済産業省及び NEDO が実施する国家プロジェクト「ロボット基盤モデルの研究開発（GENIAC）」に採択 ～九州電力株式会社と連携し、インフラ・設備点検ロボット基盤モデル開発を開始～』

（注4）本事業の取り組みイメージは、別紙参照

以 上



「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。